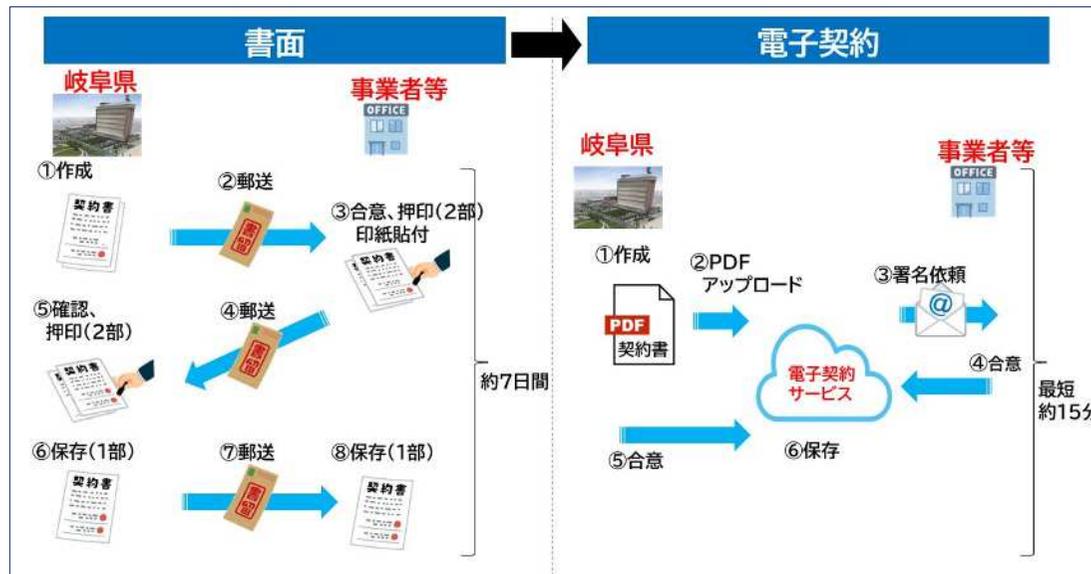


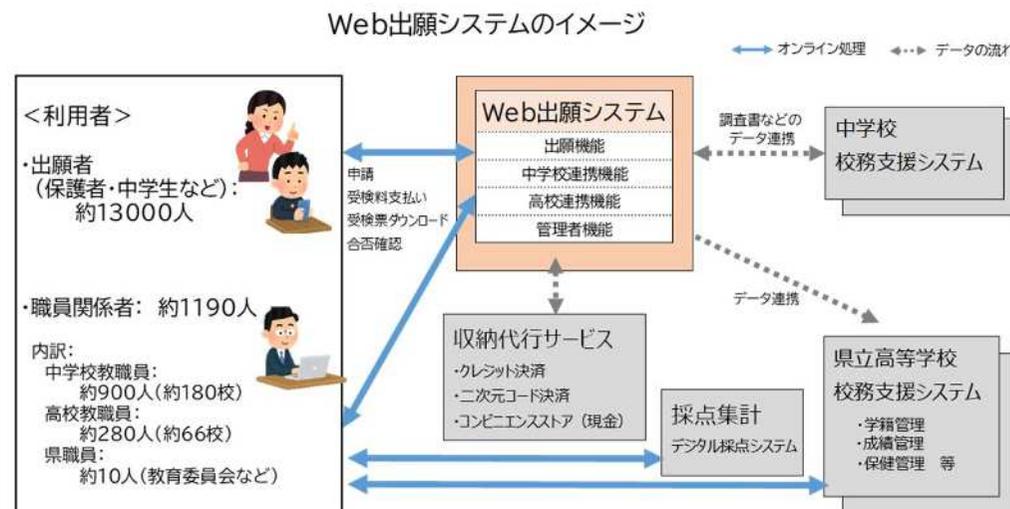
### 1 電子契約システムの導入

- 契約書を作成した後、締結までの書面のやり取りをオンライン化
- R5年10月から部分的に先行導入 (本庁4部+1現地機関の随意契約で実施)
- R6年4月から全面運用開始
  - 郵送の往復が不要となり処理が大幅に迅速化 (7日→15分)
  - 郵送コストの削減



### 2 高校入試手続きのオンライン化

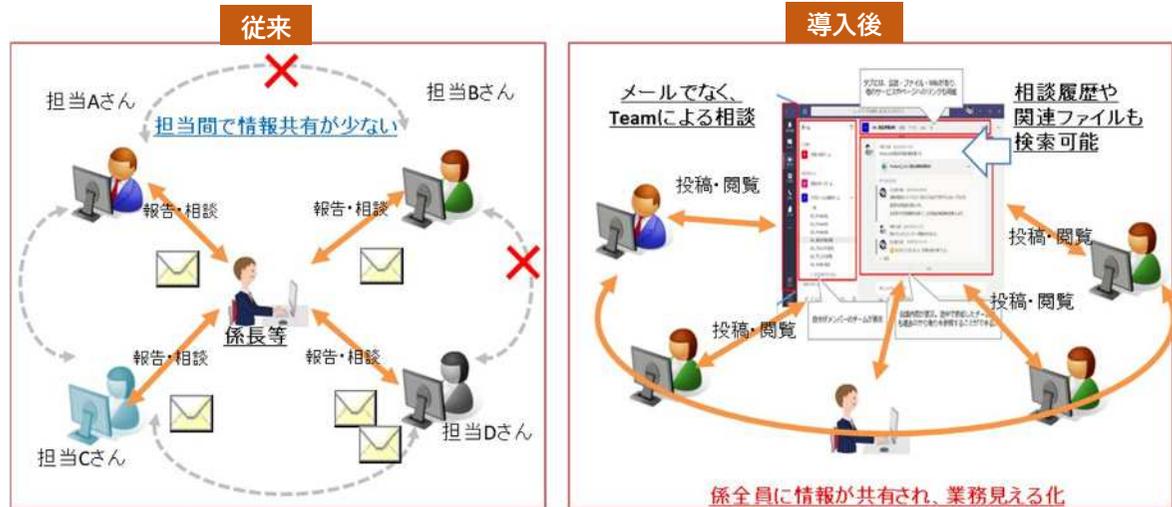
- ウェブ出願システムにより、受付から受検票発行、合格通知に至る業務をオンライン化
- R6年度入学者選抜から運用開始
- 中学校の校務支援システムとも連携し、調査書(内申書)もオンラインで提出
- 入学考査料はクレジットやコンビニで納付
  - 願書や調査書の出願校への搬送など、教職員の業務負担を大幅に削減
  - 収入証紙の購入に出向く必要がなくなるなど、出願者の利便性が向上



# 行政のデジタル化の取組み (2/2)

## 3 職員の情報共有・協働による業務遂行

- R6年1月から、コラボレーションツール「Teams」を導入
- 所属、係に加え、組織横断でチームを編成し、ファイルの共同編集（複数名での同時編集）や進捗状況の確認が可能
- チャット機能により、一斉連絡や随時の意見交換が容易
  - 業務が見える化し、協働して進められる環境を整備
  - 在宅勤務PCでも、係内の雰囲気共有して業務が可能



各部局において積極的なご活用を

## 4 モバイルを活用した情報共有・協働の充実

- R3年9月から、「moconavi」のサービスを活用し、個人のスマートフォンから職場PCのメール、RENTAIポータルへの掲示や所属の共有フォルダなどが利用可能な環境を整備
- R6年1月からは、上記3のコラボレーションツール「Teams」も利用可能となるよう当該サービスを拡充
  - 出張先など個人のスマートフォンしかない場合でも、職場のPCと同等に情報共有、進捗確認やチャット通信等が可能

